様式第１号（第６条関係）

協働事業に関する提案書

令和７年１月１５日

（あて先）狭山市長

団体名　　さやま猫預かりボランティアサークル
所在地　[redacted]
代表者名　和田　圭司

次のとおり、協働事業に関して提案します。

１　提案する協働事業	市民提案型協働事業
２　事業名	人・動物福祉の協働活動と人材育成
３　事業期間	令和７年４月１日から令和８年３月３１日
４　事業種別	☑単年度事業　　☐継続事業
５　事業予算	総額　675,000 円（内補助金申請額　500,000 円）
６　事業概要 ※100 字以内で簡潔に記入してください	行政機関が関わる飼育者が不在となった猫問題解決、行政機関の関わりが難しい多頭飼育問題を解決する事。市内の猫飼育者への適正飼育を啓発するためのボランティア育成。
７　希望する担当課 ※不明の場合は未記入	環境課
８　添付書類	☑協働事業に関する企画書（様式第２号） ☑協働事業収支予算書（様式第３号） ☑協働事業実施スケジュール（様式第４号） ☑協働事業提案団体概要書(様式第５号)

様式第２号（第６条関係）

協働事業に関する企画書

団体名　さやま猫預かりボランティアサークル
事業名　　人・動物福祉の協働活動と人材育成

１　事業名	人・動物福祉の協働活動と人材育成
２　事業の詳細	行政機関が関わる飼育者が不在となった猫問題解決、行政機関の関わりが難しい多頭飼育問題を解決する事。市内の猫飼育者への適正飼育を啓発するためのボランティア育成。
３　実施体制	猫が関係する問題現場の対応はさやま猫の会が対応し、狭山市社協「終生預かり制度」と連動する。 問題早期発見解決のための人材育成プログラムを作る。
４　役割分担	【提案団体の役割】 ・適正飼育啓発 ・問題が発生する現場対応
	【市の役割】 ・問題現場の早期発見と情報共有 ・市民広報と現場早期発見
５　協働の効果	・行政として人福祉現場では対応できない問題解決 ・社会問題となっている多頭飼育問題の解決 ・適正飼育啓発のための人材育成
６　事業のアピールポイント	平成 26 年度行政提案型事業から約 10 年間で市内外猫の不妊化を約 2,300 匹行い、令和４年からは社協連動で人福祉問題に取り組んでいる。猫が起因する社会・福祉・環境問題を市民活動において解決の一助とし、人材育成による対応人員の拡大を行う。